

工事店様へのお願い

1. この電動装置は、ニューウイングゲート手動柱に取り付けることで電動化することができます。
2. 正しい施工をしていただく為この取付説明書をお読みください。
3. 取扱い説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと・・・この取扱説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が死傷する危険があることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。
	「禁止」を示しています。
	「必ず守っていただくこと」を示しています。

施工上の注意

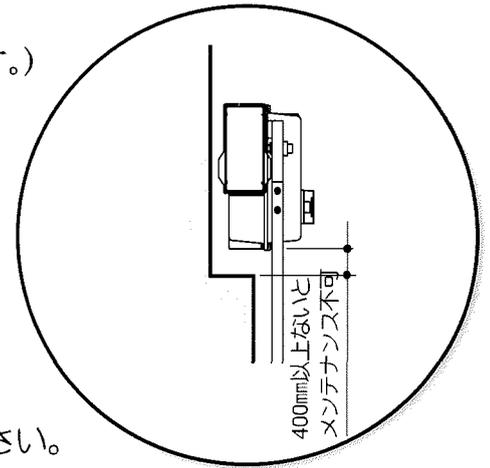
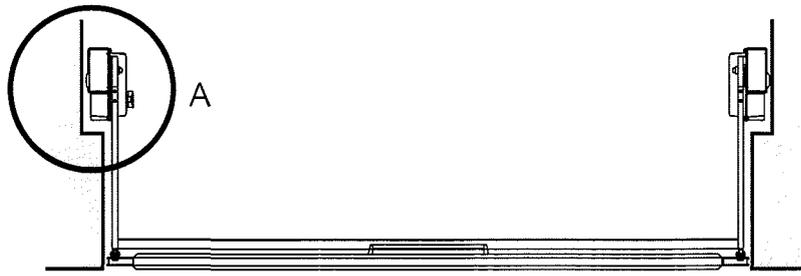
注意

- 機械部を取り扱う時には、軍手等の保護をして作業を行なってください。
(ケガのおそれがあります。)
- ねじ止め箇所は、指定のねじで全て確実に行ない、施工完了後もう一度締め具合を点検してください。
(強度確保及び脱落防止の為必ずお守りください。)
- 施工説明書に記載されていない方法で施工しないでください。
(故障が生じた場合、商品の保証を致しかねます。)
- 電気工事は、電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士等の免許がなく工事をすると違法となります。)
- 仕様変更、改造は絶対にしないでください。
(改造された場合は、商品の保証を致しかねます。)

■ 電動ユニット単体での動作確認はおやめください。
(機構部に手をはさんだり、思わぬケガとなります。)

❗ 柱の袖壁への埋込み施工は、おやめください。
(装置の交換等のメンテナンスが出来なくなります。)

A部詳細



❗ 扉が取り付いていない状態で電動での動作をさせないでください。
(内部機構部が壊れる原因となります。)

電動ユニット対応表及び予備手配と作業項目

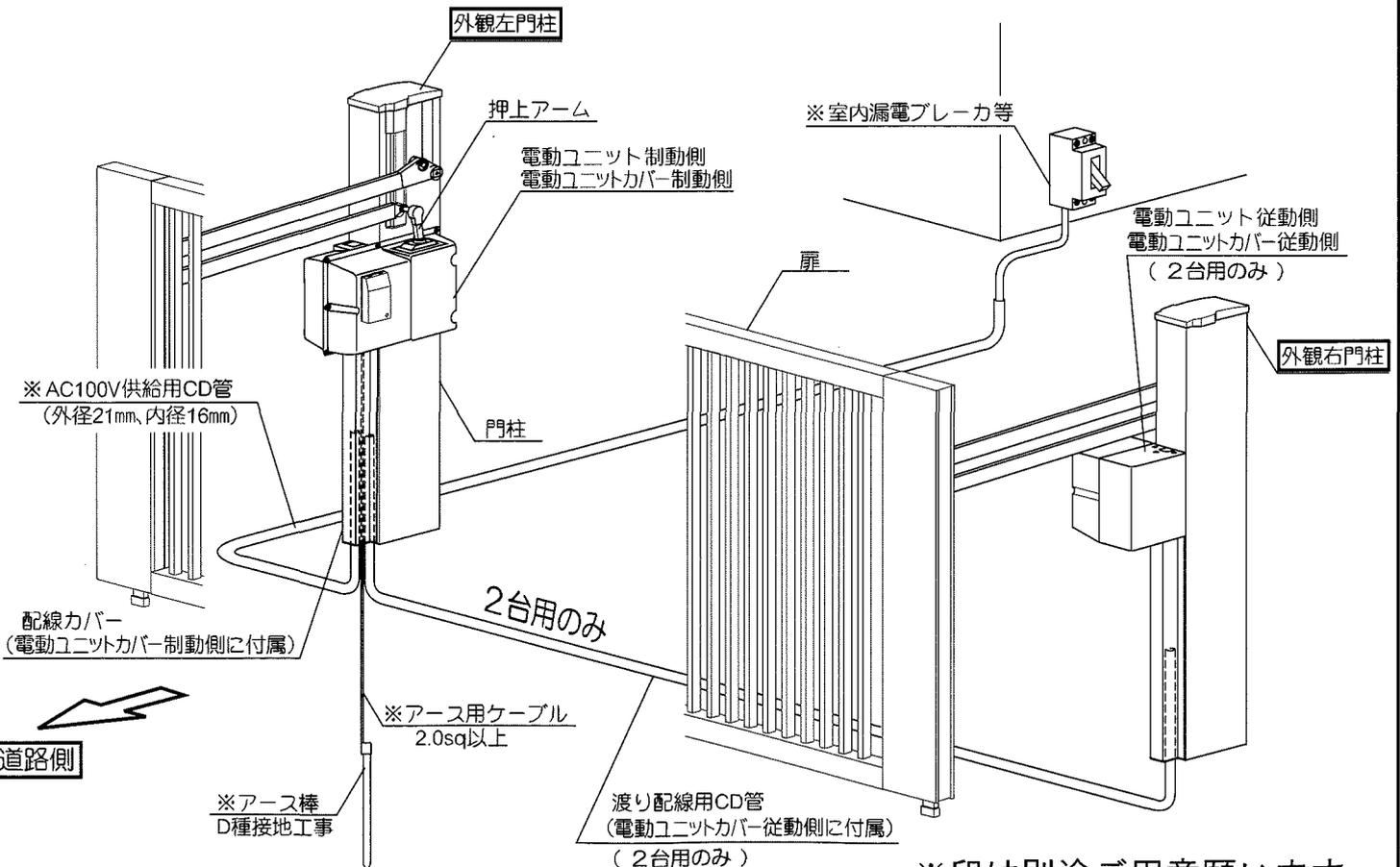
■ 間口サイズによって、電動ユニットの取付種類と予備手配品及び作業が異なります。

間口	電動ユニット制動側	電動ユニット従動側	電動ユニットカバー制動側	電動ユニットカバー従動側	AC100V予備通線作業	D種接地工事	渡り配線作業
1台用	○	—	○	—	○	○	—
2台用	○	○	○	○	○	○	○

○: 必要 —: 不要

各部の名称

一台用(W: 30以下)は制動側のみ取付けとなります。
外観左が制動側になるのが標準納まりです。(出荷状態)



※印は別途ご用意願います。

別途ご用意ください

■ 電動ユニット取付作業を行う前に各電動ユニットカバーの手配、及び電動ユニットに供給するAC100Vの通線作業、D種接地工事及び渡り配線作業はあらかじめ行なわれている事が必要です。

■ AC100V用の埋設用CD管は、外径21mm内径16mmのCD管を使用してください。又、100V供給用のキャプタイヤケーブルは2芯を使用して内部芯線がヨリ線0.75sqを用いてください。

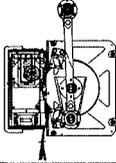
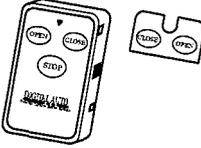
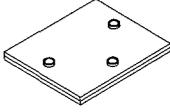
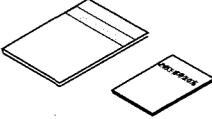
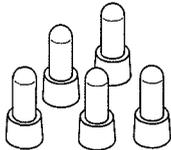
❗ 単線のFケーブル等を使用しますと、電動ユニットとの結線が出来なくなる事があります。

注) 渡り配線用の埋設CD管及び配線は「電動ユニットカバー従動側」に付属されています。

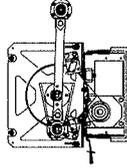
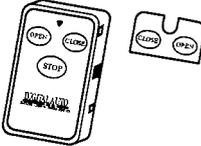
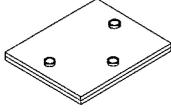
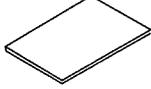
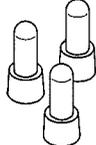
❗ 電動ユニットには電子機器が組込まれていますので、ケースを取り付けない状態で屋外に放置しないでください。雨等がかかると機器が破損します。

梱包明細表

■ 電動ユニット制動側

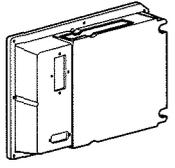
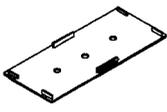
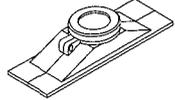
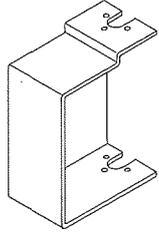
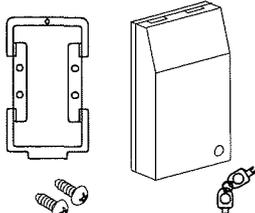
部品名		入数
電動ユニット制動側		1
リモコン 右門柱用 送信機シール		各1
リモコン用 リチウムボタン 電池(CR2032)		1
防水板		1
防水板取付ビス	 M4×12トラス3種	3本
取付説明書 お施主様用引き		各1部
結線端子		5コ

■ 電動ユニット従動側

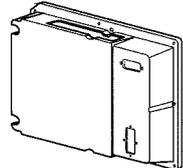
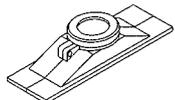
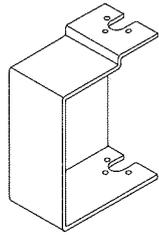
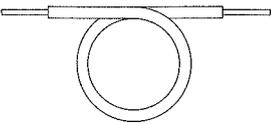
部品名		入数
電動ユニット従動側		1
リモコン 右門柱用 送信機シール		各1
リモコン用 リチウムボタン 電池(CR2032)		1
防水板		1
防水板取付ビス	 M4×12トラス3種	3本
リモコンコード 登録マニュアル		1枚
結線端子		3コ

梱包明細表

■ 電動ユニットカバーセット制動側

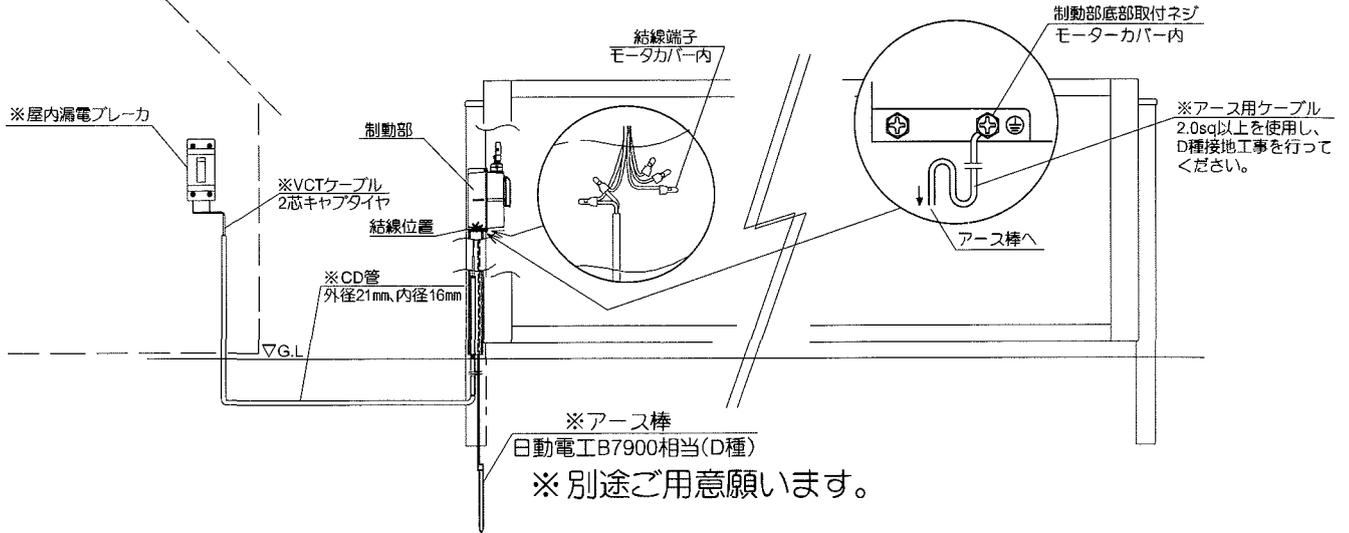
部品名		入数
ユニットカバー		1組
電動ユニット カバーキャップ		1ヶ
ユニットカバー 取付ビス	 M4×6トラス小ネジ	8本
軸カバー		1ヶ
軸カバー取付 ビス	 M4×6トラス小ネジ	1ヶ
アームカバー		1組
配線カバー		1本
配線カバー 取付ビス	 M4×13セルフドリリングビス	2本
モーターカバー		1ヶ
モーターカバー 取付ビス	 M4×12トラス3種	3本
電動ユニット 取付ボルト	 M6×25 セムス	8本
スイッチ カバーセット	 M4×8トラス小ネジ	1組
安全ストッパー 受けキャップ	 M4×14トラス3種	1組

■ 電動ユニットカバーセット従動側

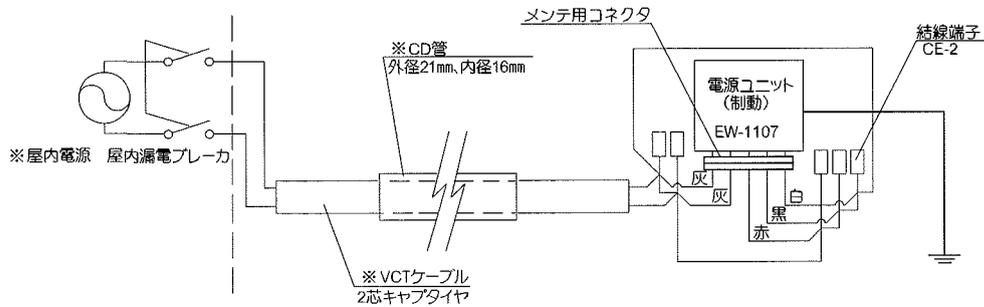
部品名		入数
ユニットカバー		1組
電動ユニット カバーキャップ		1ヶ
ユニットカバー 取付ビス	 M4×6トラス小ネジ	4本
軸カバー		1ヶ
軸カバー取付 ビス	 M4×6トラス小ネジ	1ヶ
アームカバー		1組
配線カバー		1本
配線カバー 取付ビス	 M4×13セルフドリリングビス	2本
モーターカバー		1ヶ
モーターカバー 取付ビス	 M4×12トラス3種	3本
CD管 (8m)		1組
キャップタイヤコード (9.5m)		
電動ユニット 取付ボルト	 M6×25 セムス	8本

予備配線埋設指示図

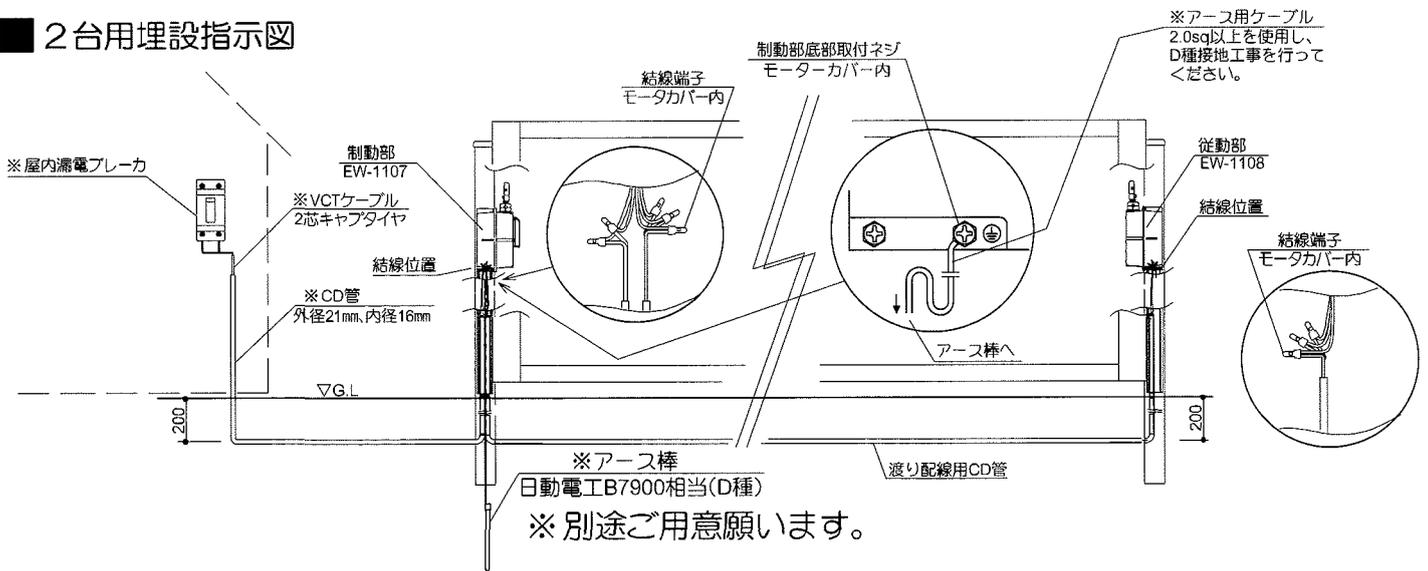
1 台用埋設指示図



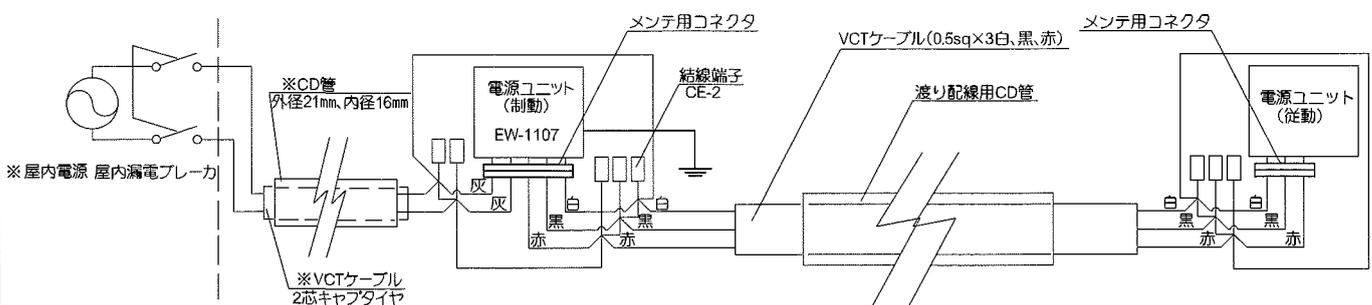
1 台用回路図



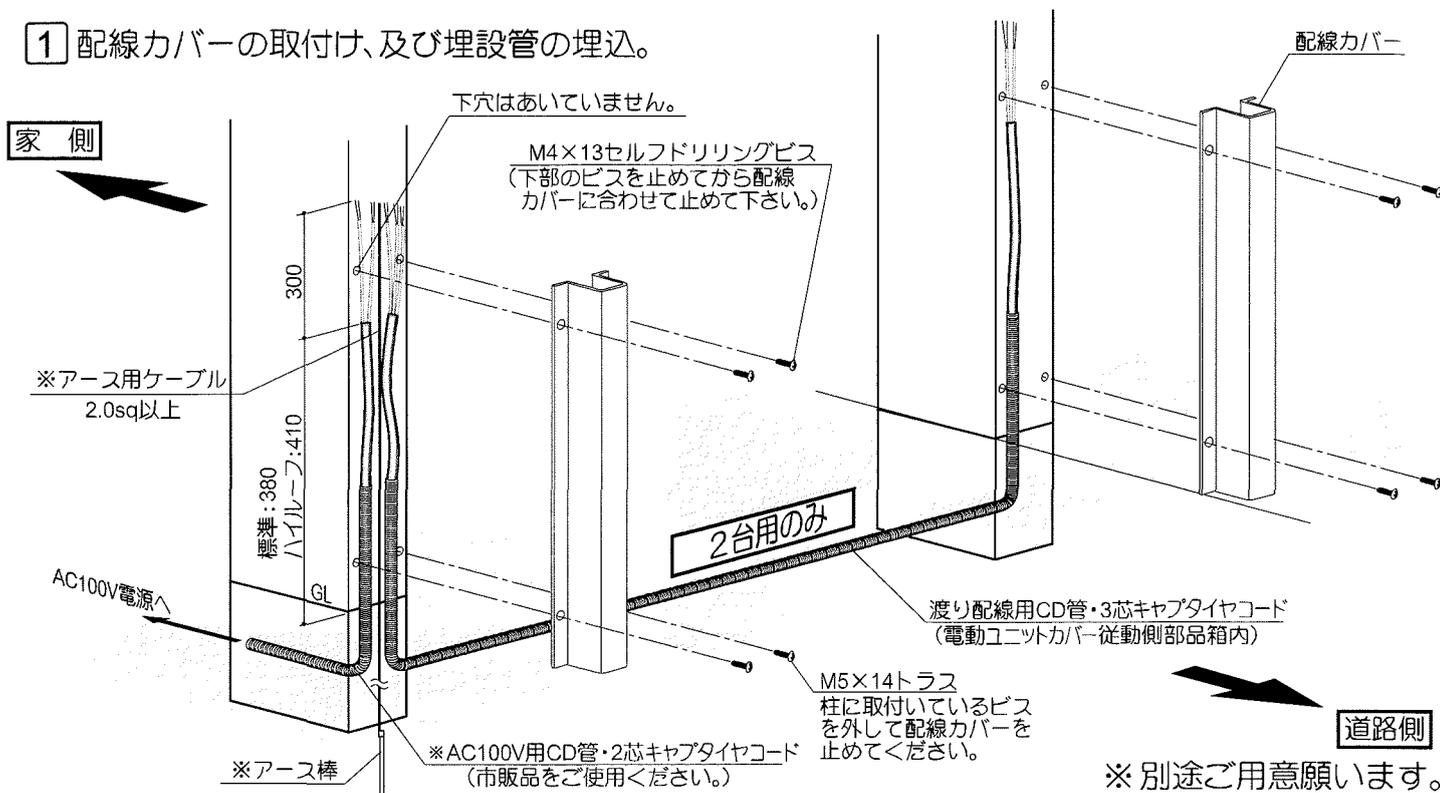
2 台用埋設指示図



2 台用回路図

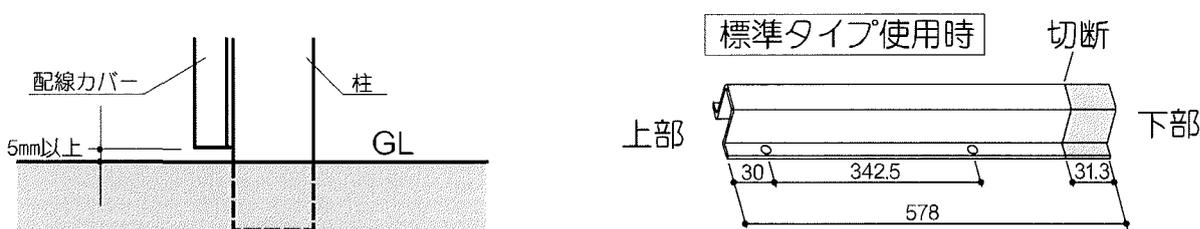


1 配線カバーの取付け、及び埋設管の埋込。



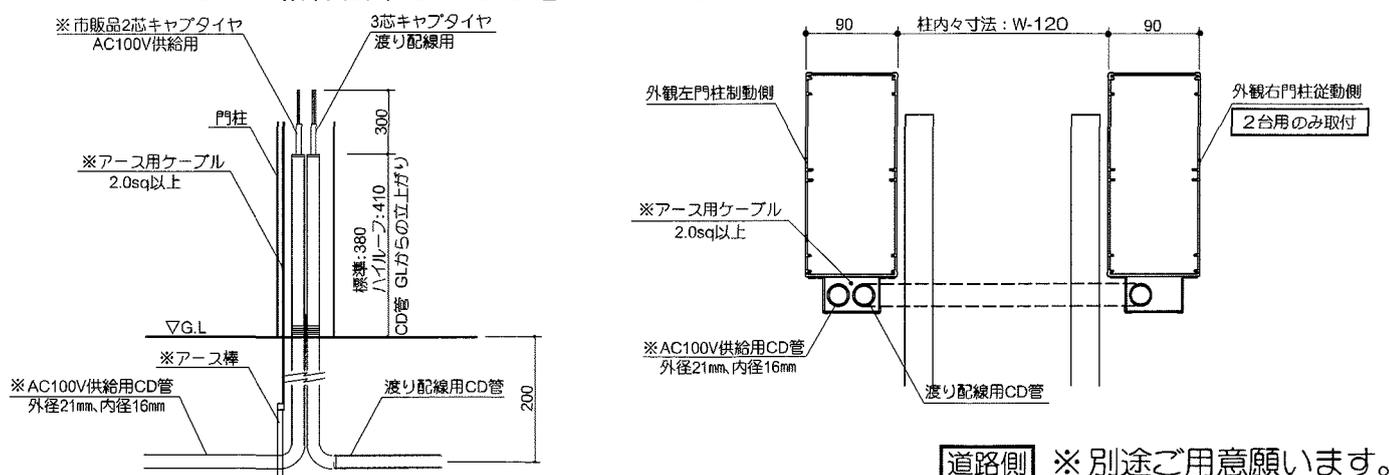
- i 電動ユニットは、出荷時に外観左側に制動側のユニット(3点スイッチ・内蔵アンテナ付)がくるようにセットされています。(外観右側に制動側ユニットを取付ける場合はP13を参照してください。) 上図の様に柱最下部のM5×14トラスビスを外し、各CD管と共に配線カバーを取付けてください。

! 配線カバーはハイルーフタイプの長さになっております。標準タイプで使用する場合はGL位置から5mm以上あくように切断してください。(標準タイプで使用する場合は下部から31.3mm切断してください。)



- ii 2台用は渡り配線をする必要があります 電動ユニットカバー従動側に付属されている渡り配線用キャプタイヤケーブルとCD管の長さは、使用扉巾によって調節する必要があります。埋設指示図及び上図を参考に現物合わせにて切断してください。

! キャプタイヤケーブルの長さが短いと結線部がモータカバー内に収納できなかつたり、結線出来なくなる恐れがあります。



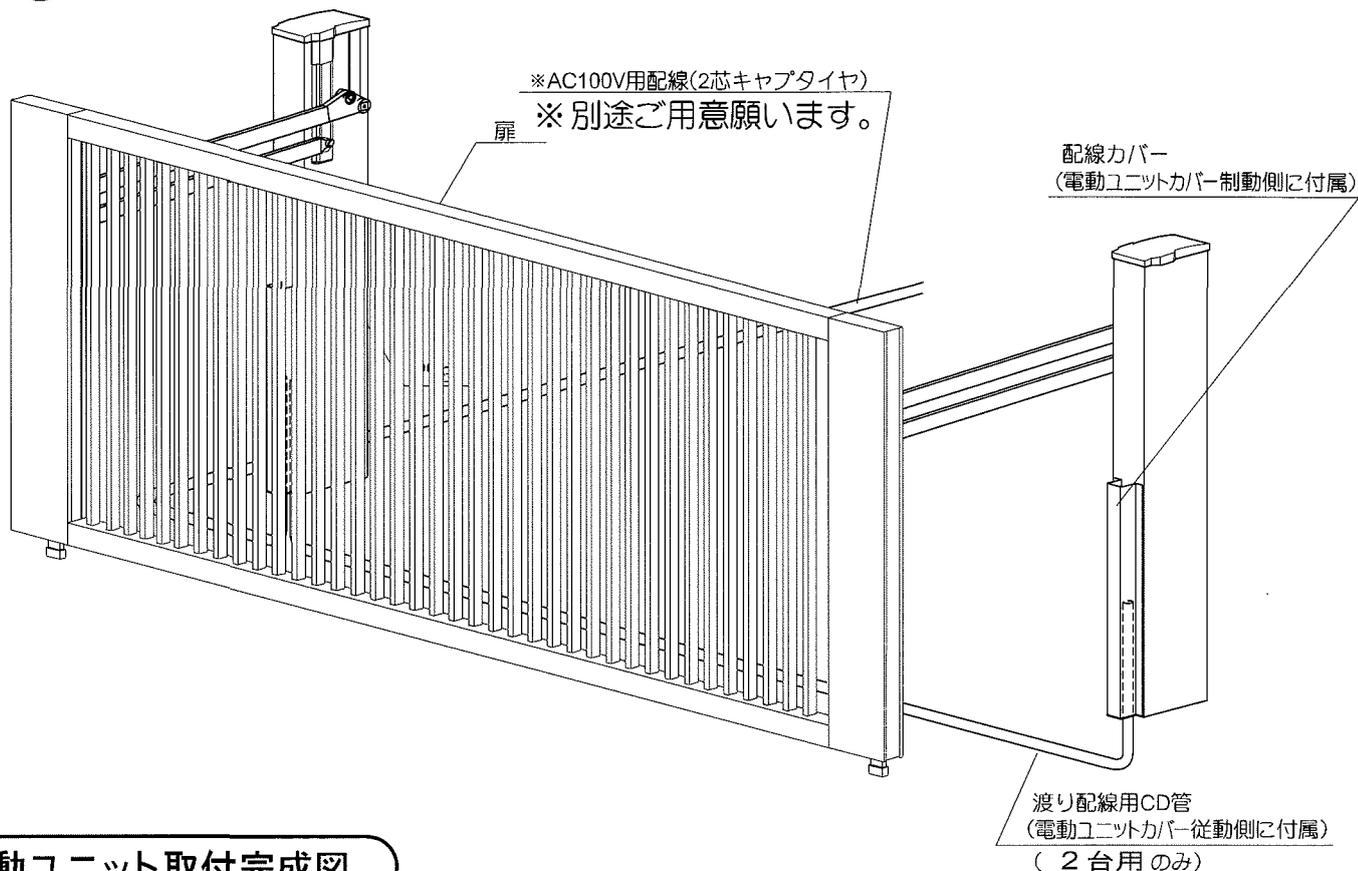
- iii 手動柱取付説明書(取付説明書番号ME-1404)を参照の上柱を埋込んで固定してください。

! 配線カバーは埋込まないでください。(結線・メンテナンスができなくなります。)

2 手動柱取付説明書(取付説明書番号ME-1404)を参照の上、扉を取付けてください。

❗ 扉を取付ける前に電動ユニットを取付けないでください。

❗ 扉を取付ける前に電動ユニットを作動させないでください。

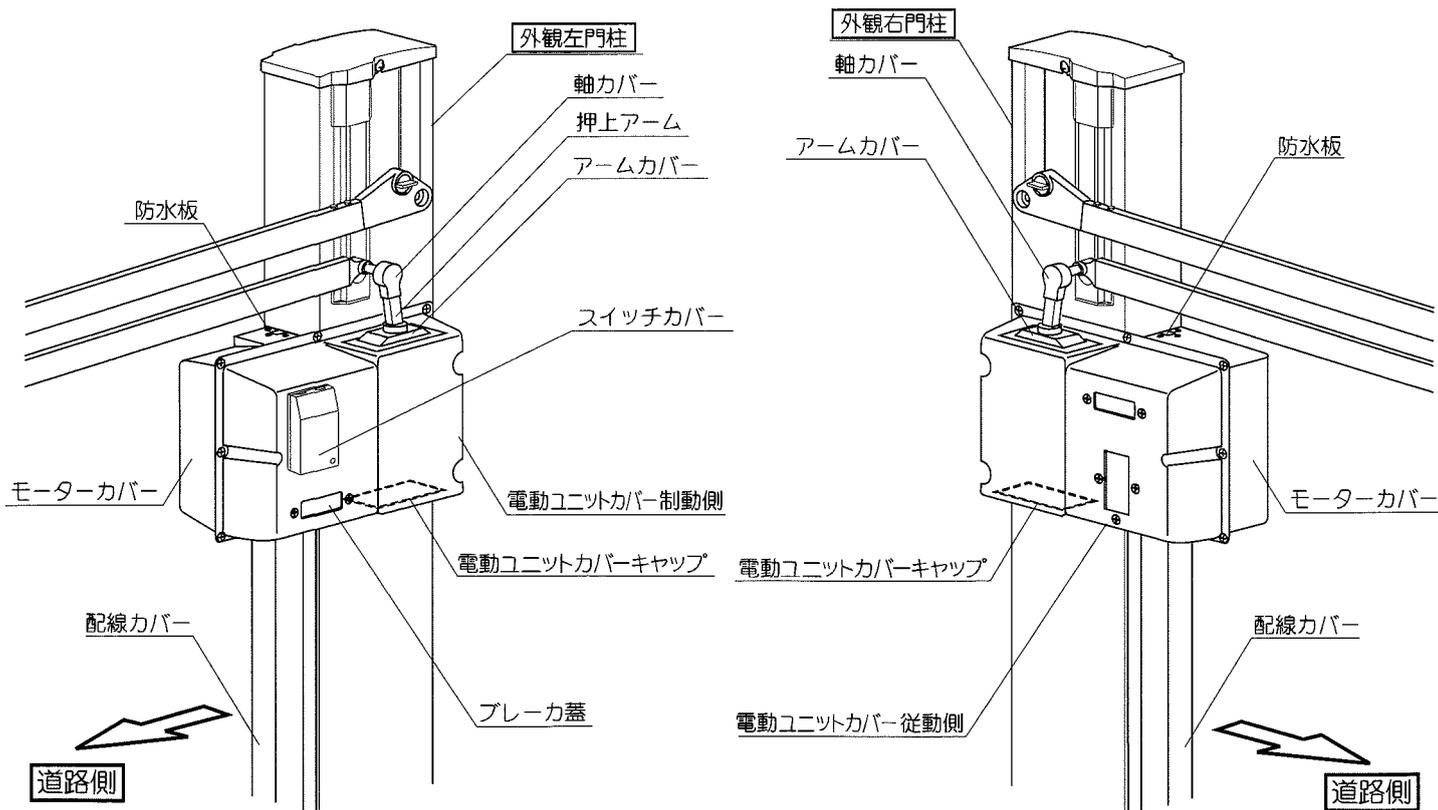


電動ユニット取付完成図

(図は電動ユニット制動側が左門柱に取り付く場合を示します。)

■ 電動ユニット制動側
(各扉サイズ共通)

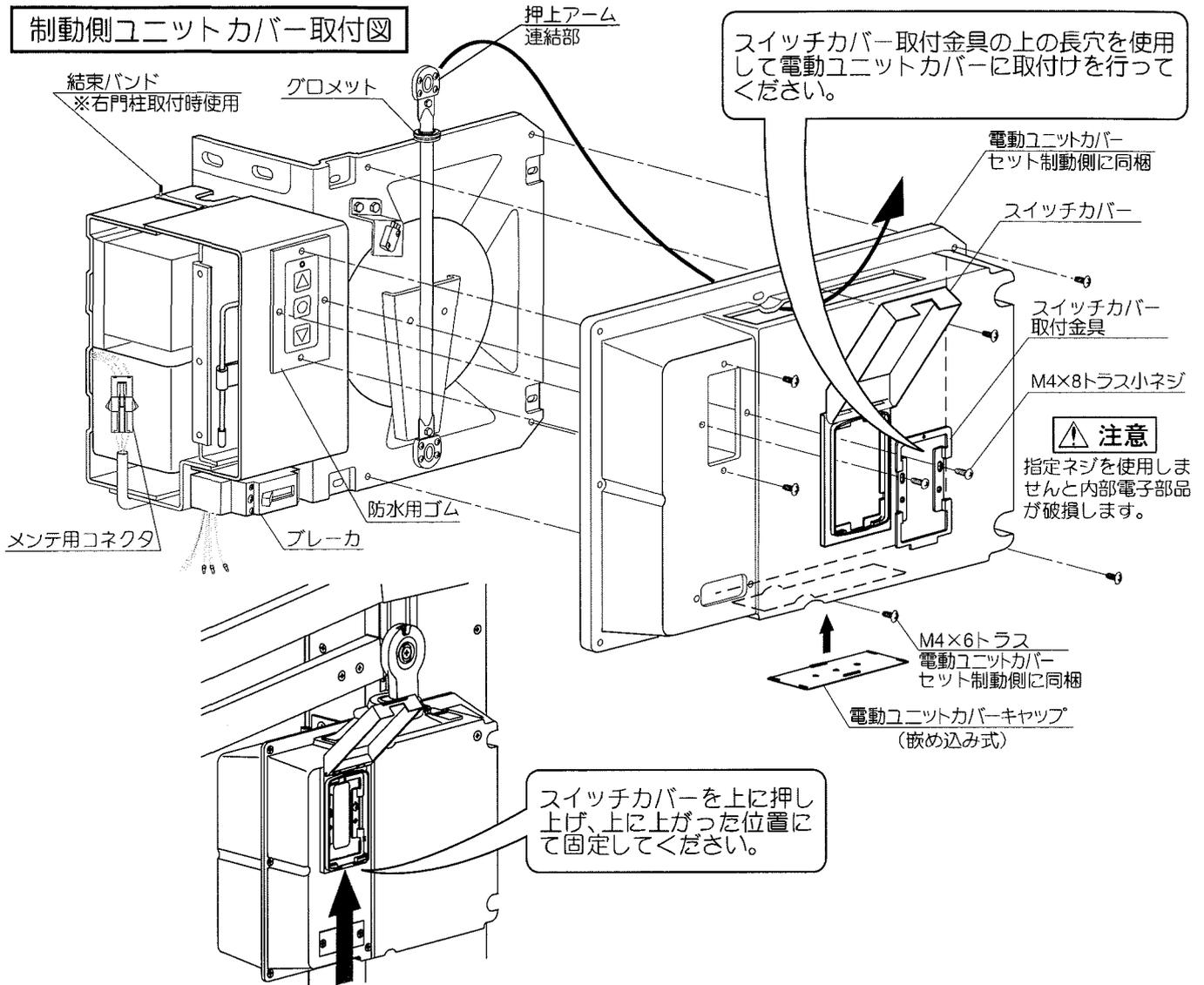
■ 電動ユニット従動側
(2台用のみ取付)



3 電動ユニットにカバーを取付けてください。

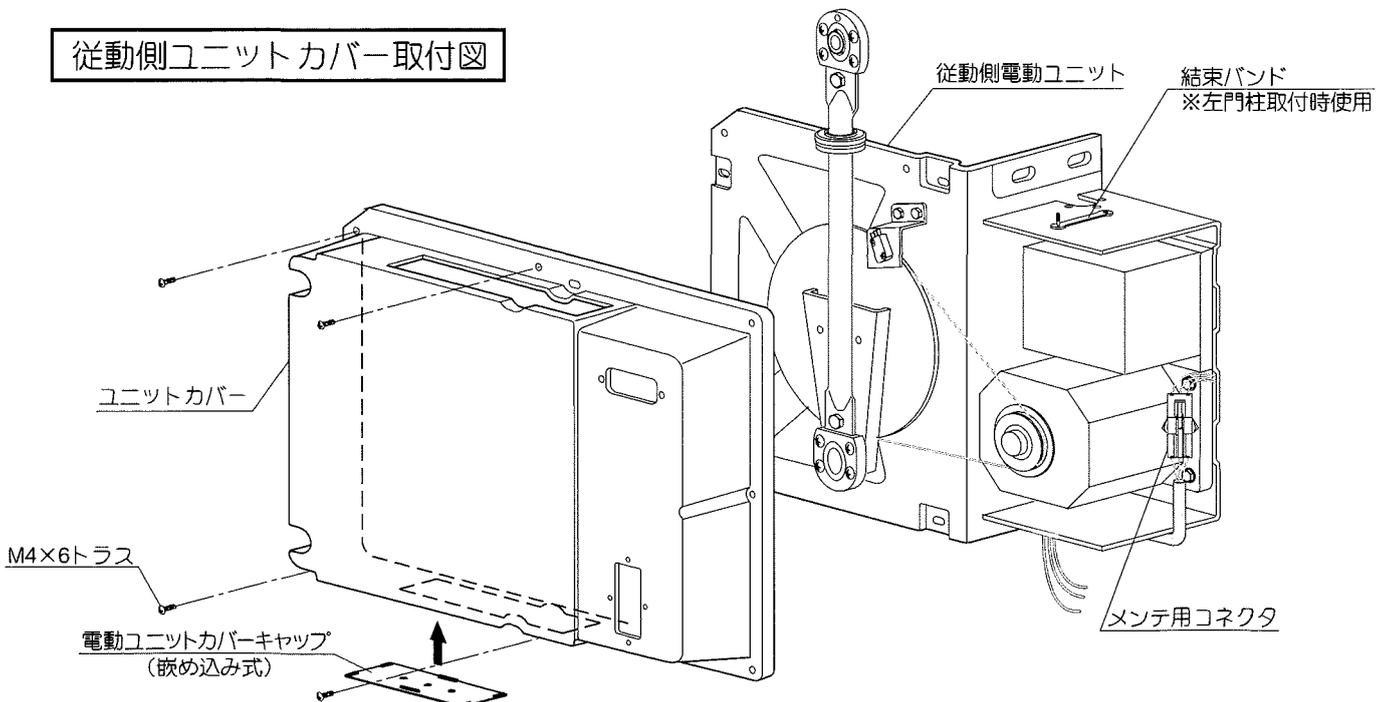
- 1) 押し上げアームをグロメットと共にケースの角穴上部に通します。
- 2) ユニットカバーを電動ユニットに図に示すネジで取り付けます。

制動側ユニットカバー取付図



- 3) 扉が 2 台用の場合は、制動側と同様に従動側も取り付けてください。

従動側ユニットカバー取付図



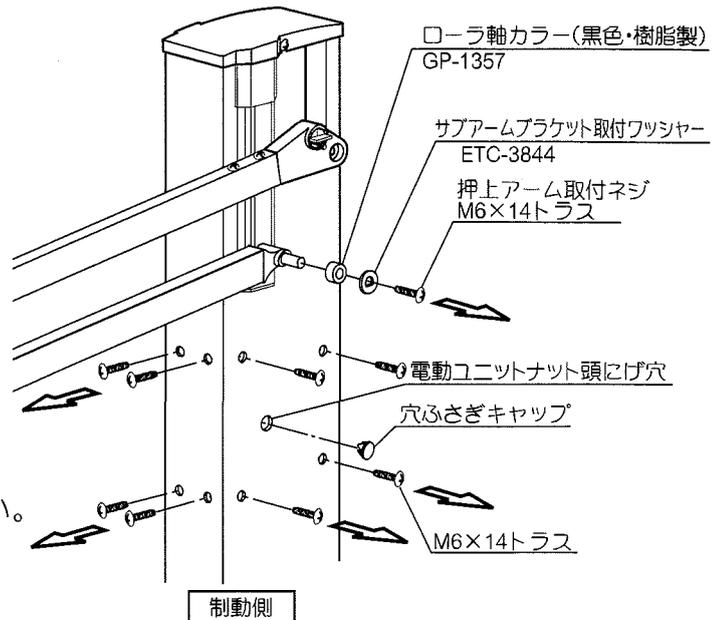
4 手動門柱から電動ユニットを取付けるために下記部品を取り外してください。

- 1) 電動ユニット取り付け位置にあるネジ (M6×14トラス) を8本と、穴ふさぎキャップを取り除いてください。
- 2) 「押上アーム取付ネジ」と「サブアームブラケット取付ワッシャー」を外し「ローラ軸カラー」を取り除いてください。

! 取り除いた「ローラ軸カラー」は電動ユニットメンテの時に必要なもので必ず施主様にお渡しください。大事に保管して頂いてください。

! 「押上アーム取付ネジ」と「サブアームブラケット取付ワッシャー」は ⑤5)にて再度使用します。紛失しない様に一時的に外しておいてください。

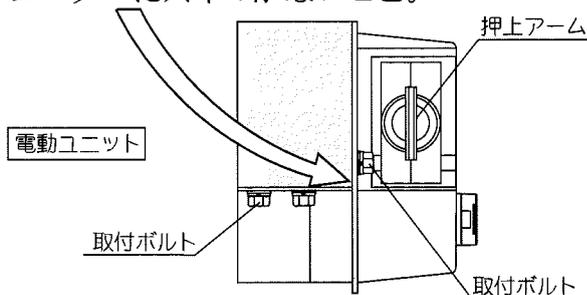
- 3) 扉が2台用の場合は従動側も同様に取外してください。



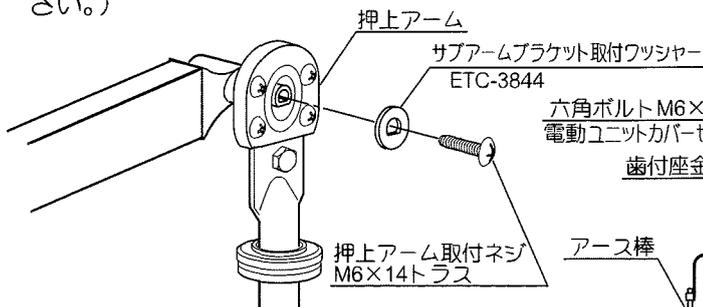
5 電動ユニットカバーを取り付けた電動ユニットを、門柱に取り付けてください。(制動側・従動側同様に取付けてください。)

- 1) 電動ユニットのナット出っぱり部を門柱のナット頭逃げ穴に差込んでください。
- 2) 電動ユニットカバーセット内の六角ボルト (M6×25セムスB)にてユニットカバー側の4本より取付けます。
- 3) 扉側の4本を電動ユニットの長穴に合わせ同様に電動ユニットカバーセット内の六角ボルト (M6×25セムスB) を門柱との隙間が出ない様に取り付けてください。
- 4) 下図の様に門柱と隙間のない事を確認して8本の六角ボルト (M6×25セムスB) を締め付けてください。アース用ケーブル取付部には、歯付座金を使用してください。(※アース棒は別途ご用意願います。)

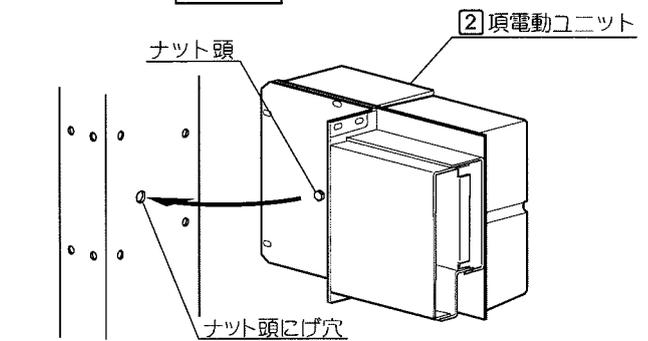
! このコーナーにスキマがないこと。



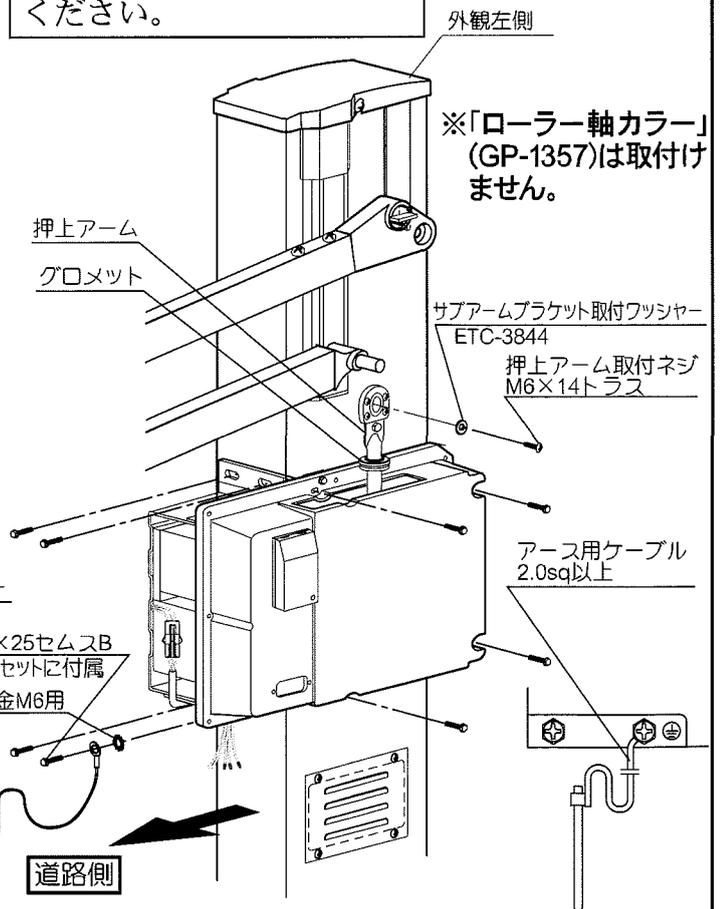
- 5) 電動ユニットの押上アームを押し上げ軸に差し込み ④2)にて一度手動門柱から外したサブアームブラケット取付ワッシャーを押し上げアーム取付ネジで取り付けてください。(ワッシャーには取付向きがありますので、ご注意ください。)



! ゆるみのない様にしっかりと締め付けてください。



扉を閉じた状態で取付けてください。



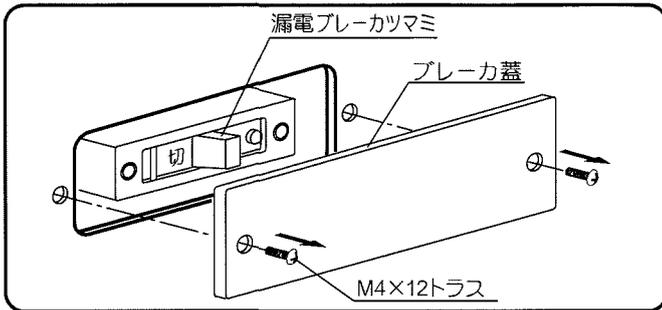
6 電気配線

警告 電動ユニット制動側から出ている従動側配線(白、黒、赤)は、すでに絶縁のため結線端子が付けられています。2台用(両駆動)の場合以外はこれを絶対に切り離さないでください

(この配線には電圧が出力されますので、結線端子を外したりキズを付けたりしますと) 機器の破損や事故につながります。

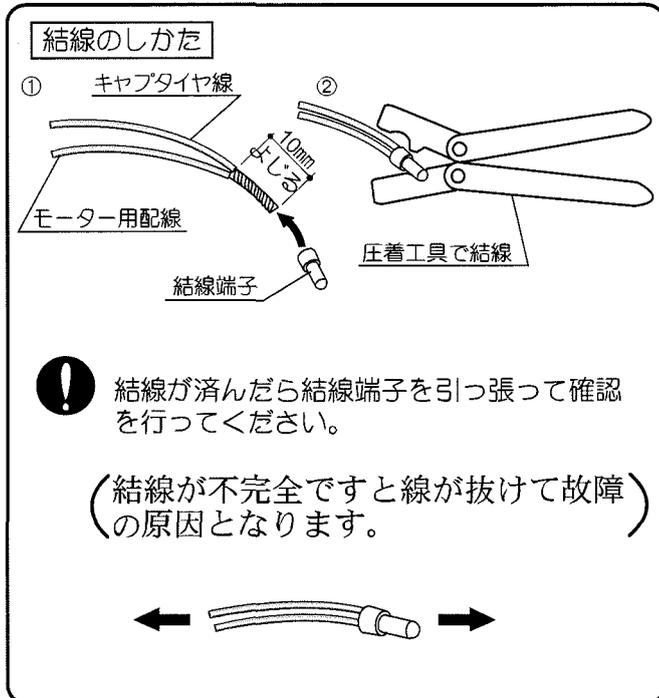
警告 AC100V供給用室内電源がOFFになっている事を確認してください。(AC100V入力が出力されているまま結線作業を行なうと、感電や火災の事故につながります。)

- 1) 電動ユニットのブレーカ蓋のネジ2本を外し漏電ブレーカがOFFになっている事を確認してください。

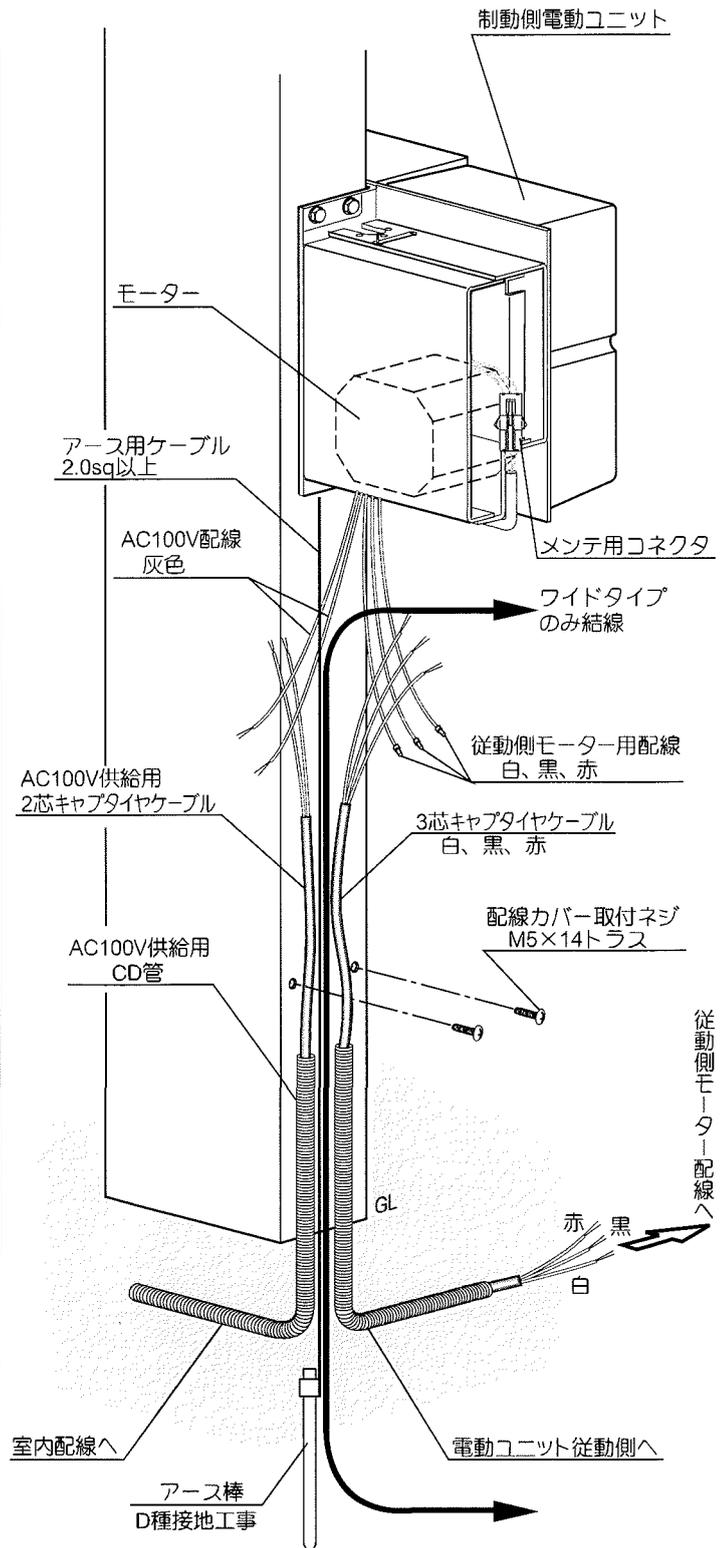


- 2) P6で取付けた配線カバーを取り外してください。

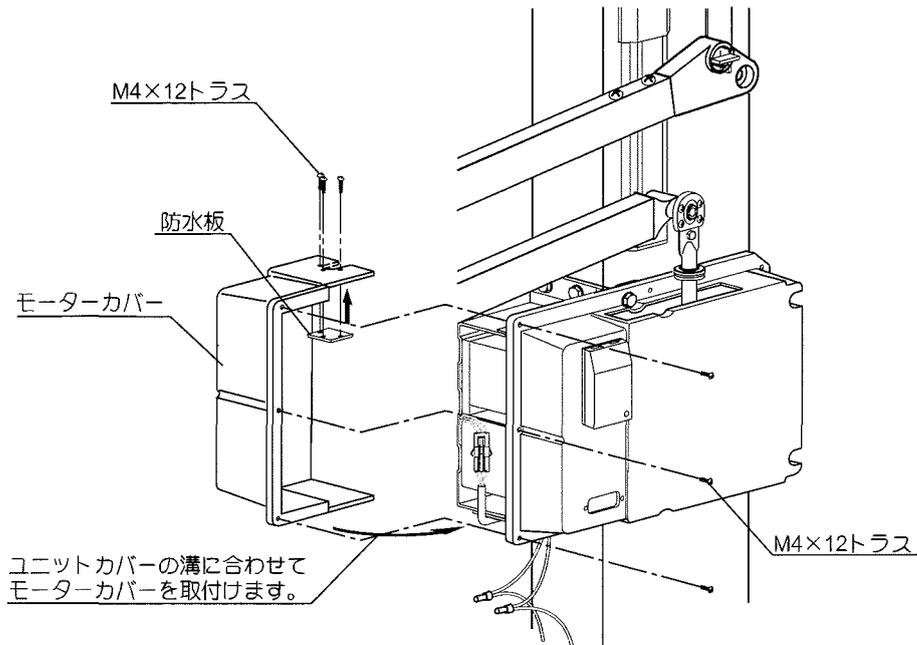
- 3) 電動ユニット制動側AC100V配線(灰×2)を付属結線端子でAC100V供給用のキャプタイヤケーブル(2芯)と結線してください。



- 4) 2台用(両駆動)の場合は、3芯キャプタイヤケーブル(白、黒、赤)と同色の配線同士を結線してください。片駆動の場合は、結線端子を切り離さずそのままにしておいてください。



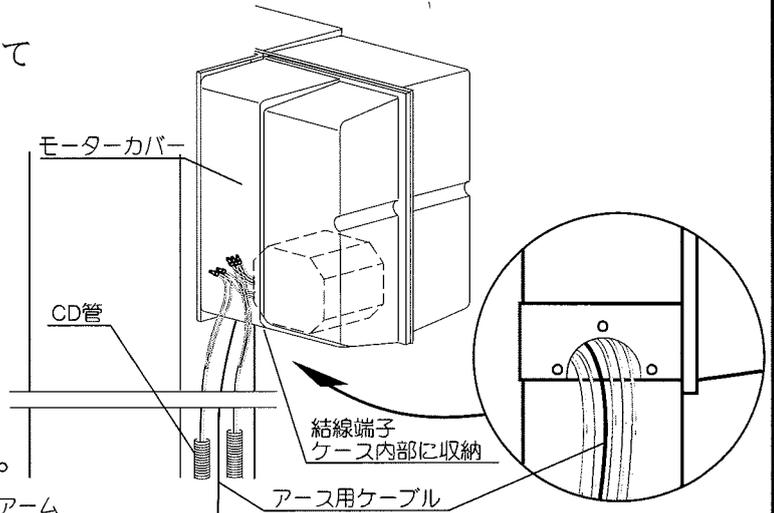
7 モーターカバーに防水板を取り付け、電動ユニットに組み付けてください。



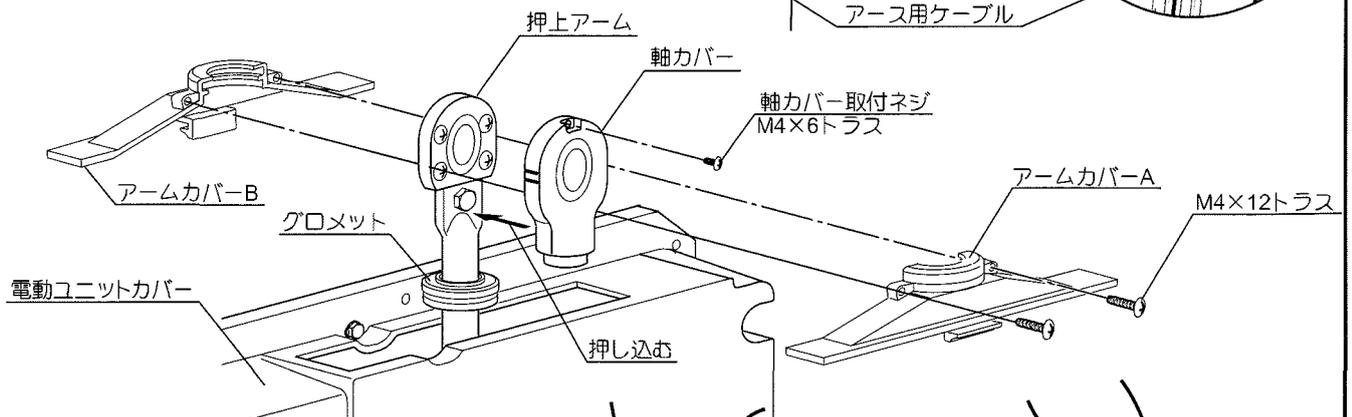
結線部をモーターケースの内部に納めて、ケース下側の半穴より出る様に取り付けてください。

❗ 線をケースにはさみ込まない様にして
ください。故障の原因となります。

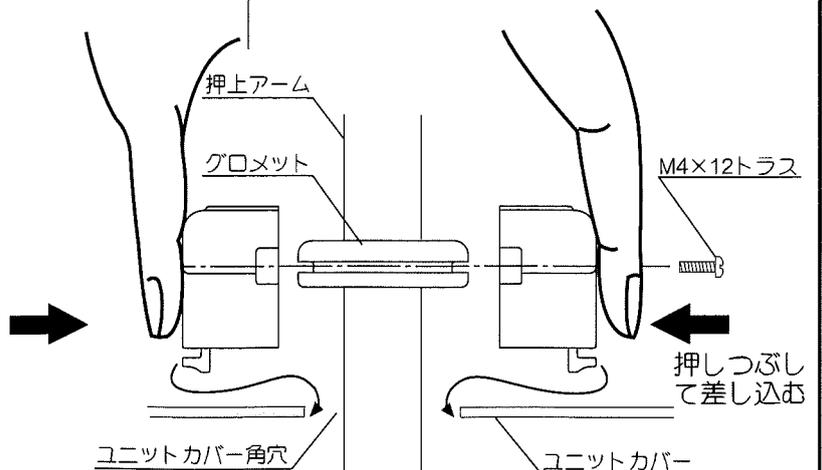
❗ 結線部をケース内に収納しませんと
漏電の原因となります。



7 軸カバー、アームカバーA,Bを取り付けます。



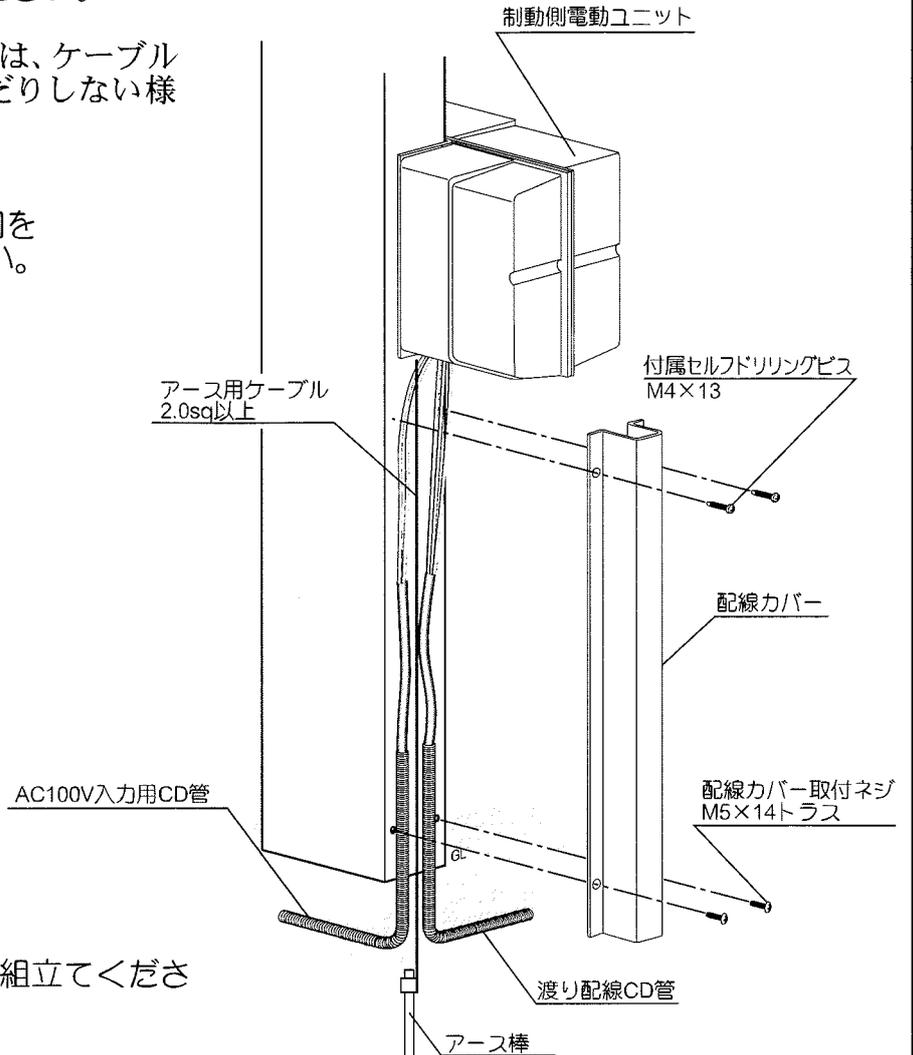
● アームカバーA,Bで、グロメットをはさみ込み、組立ビス(M4x12トラス)にて取り付けてください。組立てたアームカバーA,Bを指でおしつぶしてユニットカバーの角穴に差し込みスライドするか確認してください。



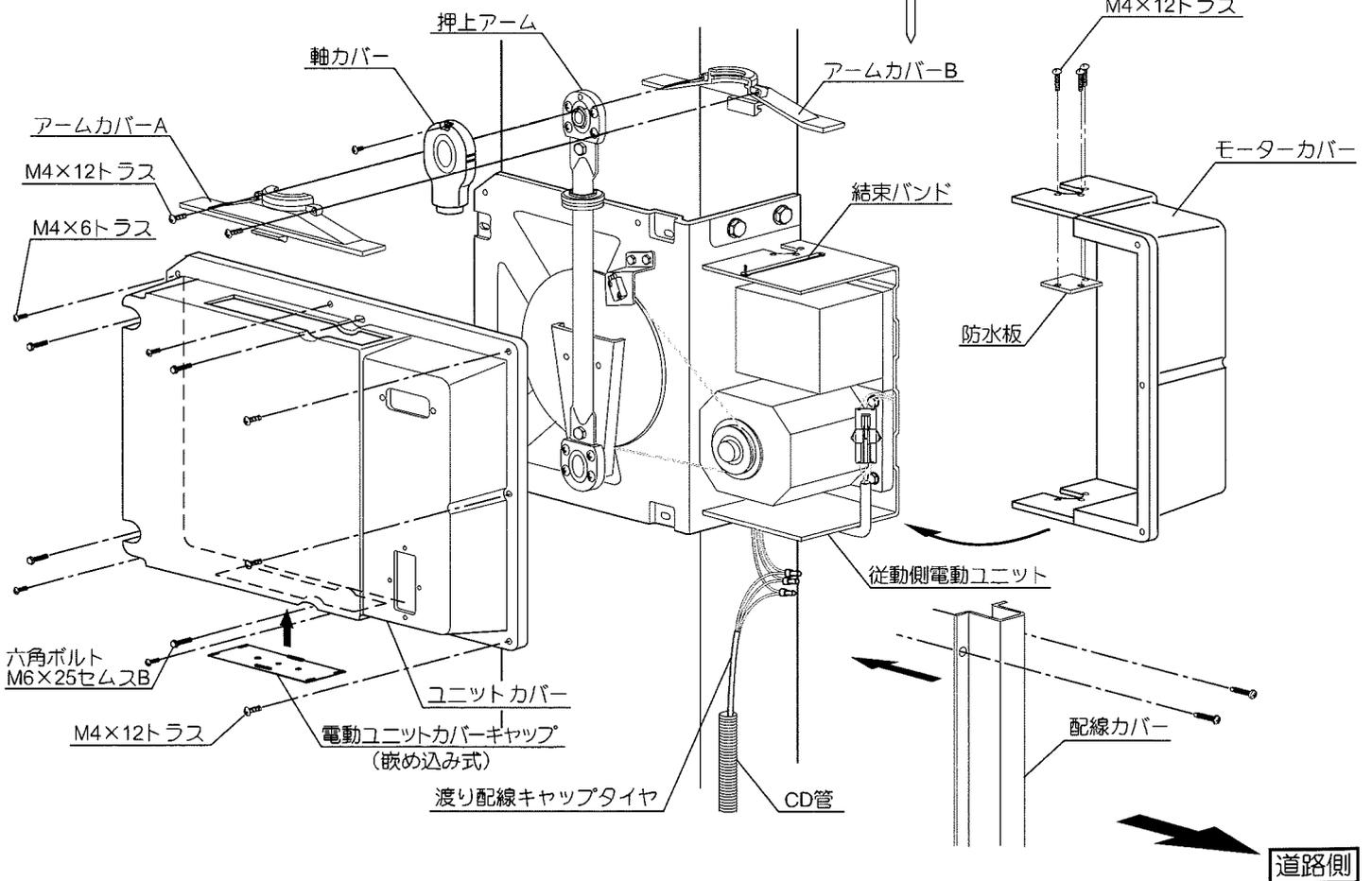
9 配線カバーを再度取り付けてください。

! 配線カバーを取り付ける際は、ケーブルをキズ付けたり挟み込んだりしない様に注意してください。

2台用は、両側駆動となります。
制動側電動ユニットと同様に右図を参考に従動側を取付けてください。

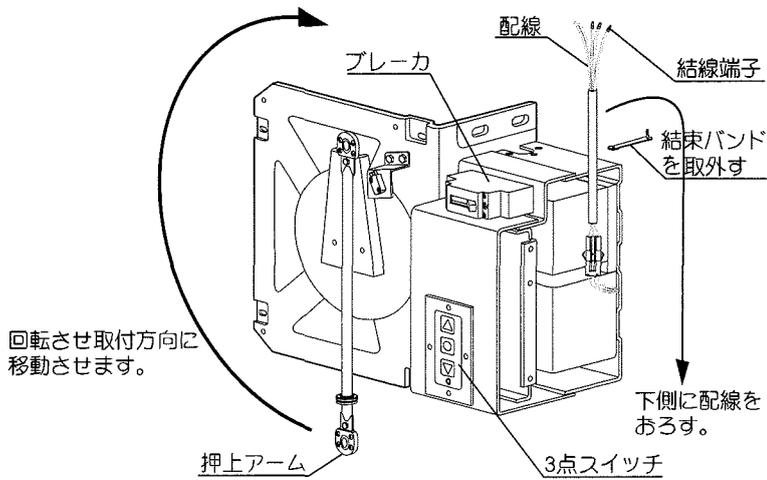


10 電動ユニット従動側の取付
電動ユニット制動側と同じ要領で組立ててください。

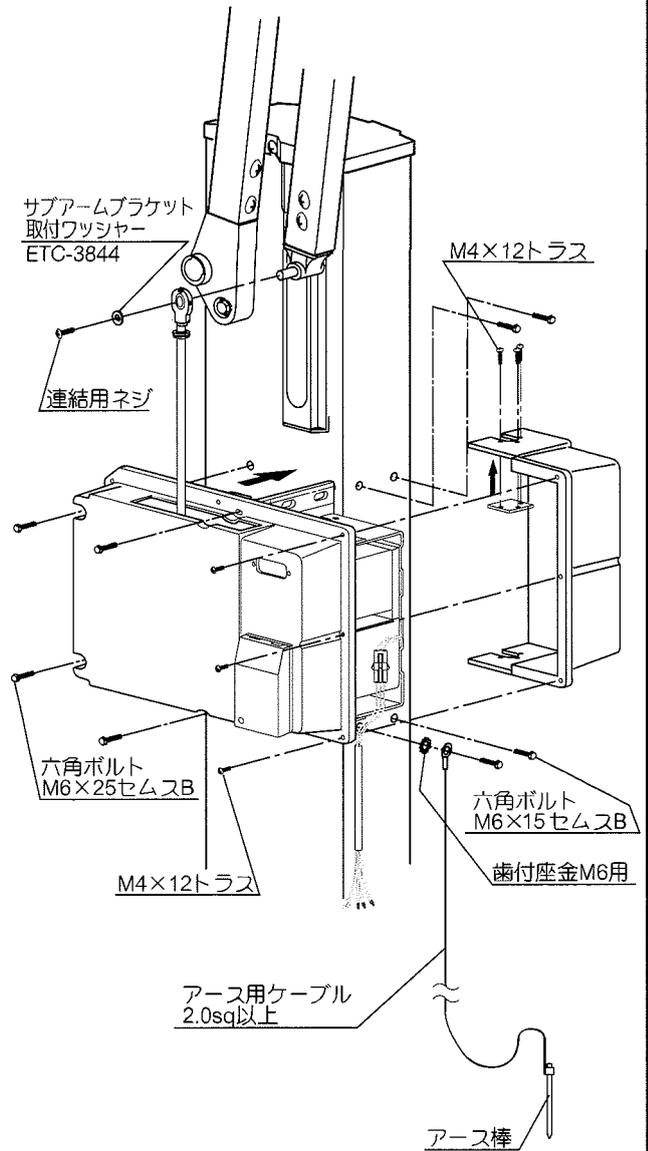


外観右門柱に電動ユニット制動側を取り付ける方法

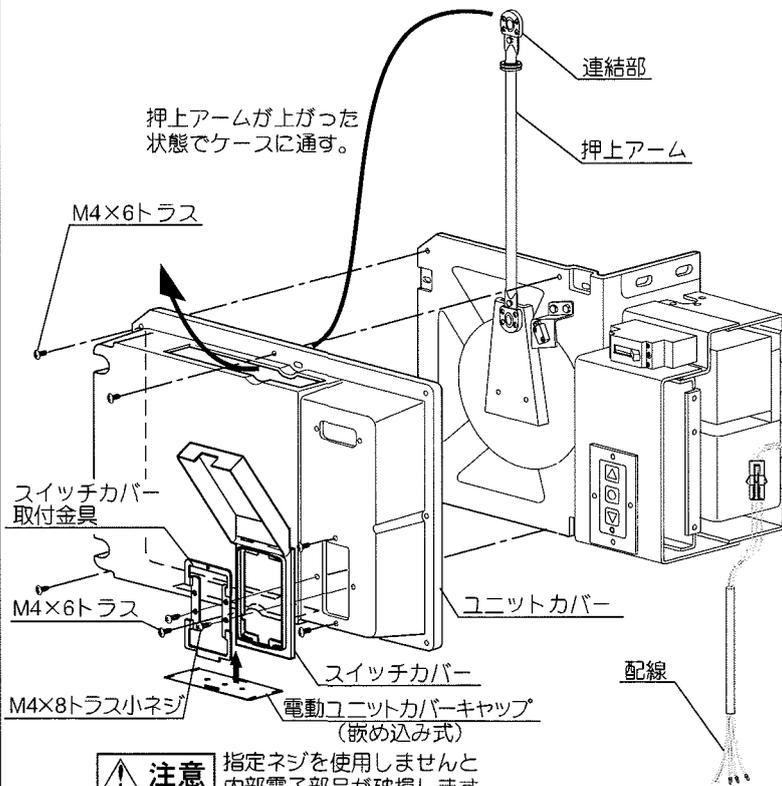
1) 三点スイッチとブレーカの位置が左門柱に取り付ける時と天、地が逆になりますので押上アームを回転させてユニットカバーを電動ユニットに取り付けてください。



2) 扉を開けた状態で電動ユニットを取り付けます。

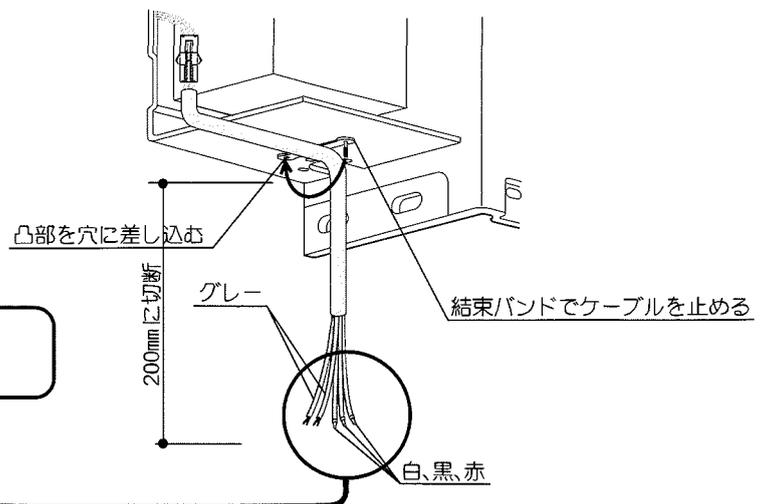


※アース用ケーブル・アース棒は別途ご用意ください。



注意 指定ネジを使用しないと内部電子部品が破損します。

3) 配線を付属結線バンドにて固定してください。



一台用ウイングゲートの場合は、P10を参照し結線端子で各端末を絶縁してください。

4) 結線作業をP10以降の要領で行なってください。

1 台用 (片駆動)

制動側電動ユニット

結線端子
ケース内部に収納

※アース用ケーブル

CD管

2 台用 (両駆動)

制動側電動ユニット

結線端子
ケース内部に収納

※アース用ケーブル

渡り配線

CD管

❗ 結線部をケース内に収納しませんと漏電の原因となります。

❗ 結線部をケース内に収納しませんと漏電の原因となります。

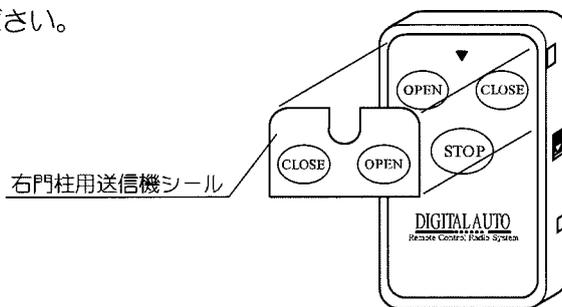
道路側

道路側

5) 外観左門柱と同様の施工要領にて、各部品を取付けてください。

6) リモコンの変更

3点スイッチが外観右門柱に取付いている場合は、右図の様に付属シールを貼付してご使用ください。



安全ストッパー受けキャップの取付

● 電動タイプの場合、施工時及びメンテナンス時以外は安全ストッパーを使用しません。(電動にて扉を閉めると自動でロックがかかります。)アーム作動時に指などははさむ恐れがありますので、ストッパー受けに必ずキャップを取付けてください。

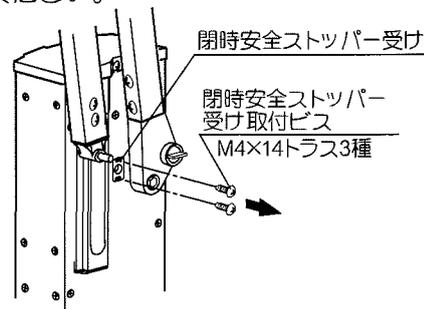
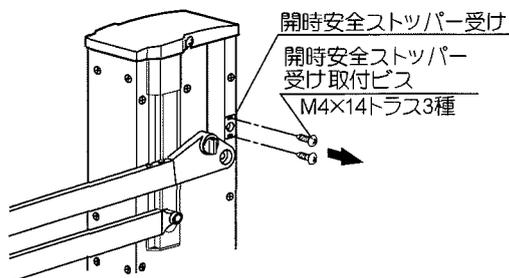
⚠ 警告 本作業は必ず扉を取付け後に行ってください。万一扉を取り外す場合は、安全ストッパー受けキャップを外しストッパー受けをビス止めした上で作業を行ってください。

扉開状態安全ストッパー受けキャップ取付け

1) 扉を下げた状態にし、開時安全ストッパー受けを止めているビスを外してください。メンテナンス時に使用しますので、安全ストッパー受けは外さないでください。

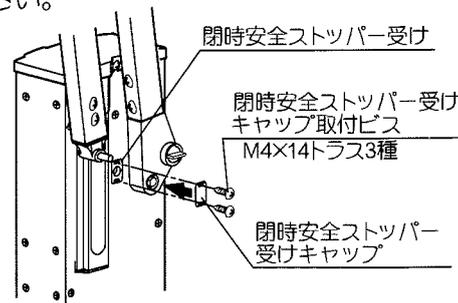
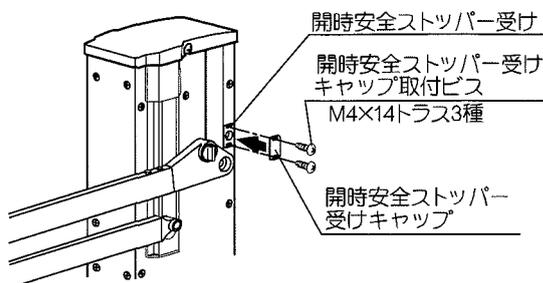
扉閉状態安全ストッパー受けキャップ取付け

3) 扉を上げた状態にし、閉時安全ストッパー受けを止めているビスを外してください。メンテナンス時に使用しますので、安全ストッパー受けは外さないでください。



2) 安全ストッパー受けキャップに入っているビスで取付けてください。

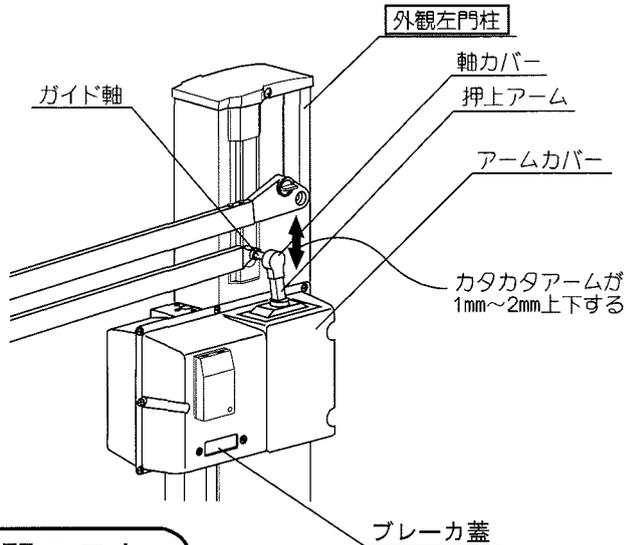
4) 安全ストッパー受けキャップに入っているビスで取付けてください。



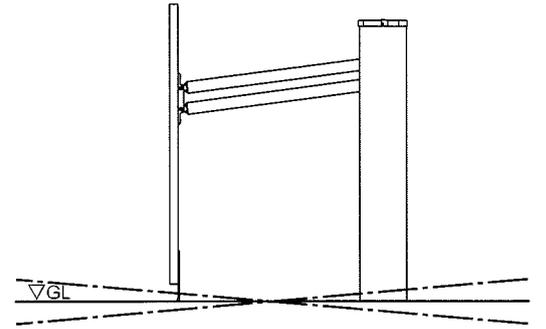
組立ての最終確認

- 1) 施工後ねじ類の締め具合をもう一度点検してください。
- 2) ケースの取り付け方法及び結線等の仕方を確認してください。
- 3) 扉が閉鎖した時に電動ユニット押上アームが上下に1~2mm程の遊びが有る事を確認してください。

⚠ 注意 扉が閉鎖した時に電動ユニット押上アームが上下に1~2mm程の遊びが出ている事を確認してください。遊びが無い状態ですとガイド軸に無理な力がかかり破損します。



取付取扱説明書で設置状況をご確認ください。



扉の開閉テスト

■ 施工が終わった時点で必ず扉の開閉テストを実施してください。

- 1) ウイングゲート用の室内電源をONにしてください。
- 2) 電動ユニットに電源を投入してください。

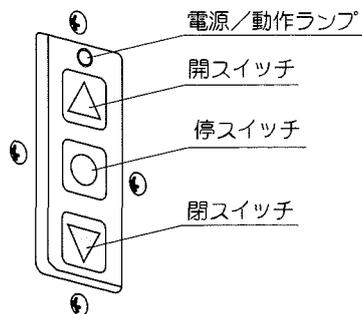
1) 制動側電動ユニットのブレーカ蓋内にあるブレーカを入にしてください。

2) 電源ランプ/動作ランプ(三点スイッチ上部、右門柱の場合は下部の丸い部分)が赤く点灯されている事を確認してください。

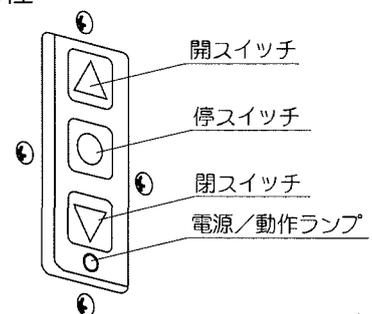
※ 赤く点灯されない場合は、もう一度AC100Vの配線と室内電源が確実にONになっているか確認してください。

- 3) 三点スイッチでの動作

■ 左門柱

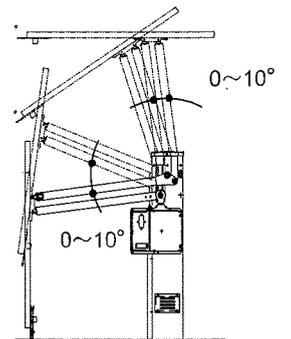


■ 右門柱

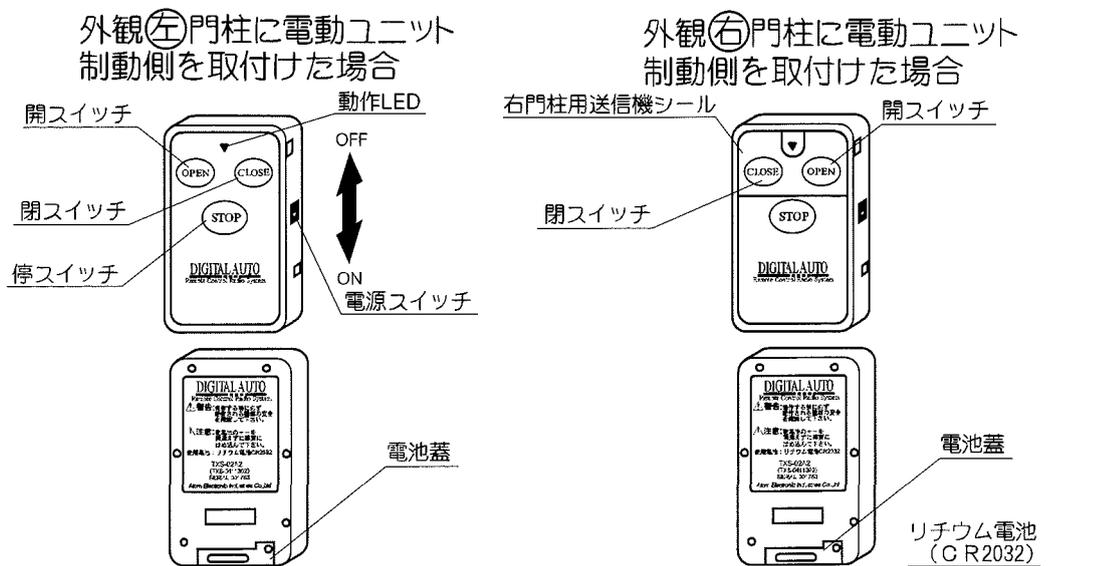


- 1) 開スイッチを押しますと電源/動作ランプが消灯して扉が開放しはじめ、開動作が終了しますと再び電源/動作ランプは点灯します。
- 2) 閉スイッチを押しますと電源/動作ランプが消灯して扉が閉鎖しはじめ、閉鎖が終了しますと再び電源/動作ランプは点灯します。
- 3) 開放又は、閉鎖動作中に停スイッチを押しますと、動作は停止します。

注：但し右記の位置においては、扉は停止せず自然に閉状態又は、開状態になります。



4 リモコンでの動作



1) 電動ユニット制動側付属のリモコン(コードNoは登録済)の電池蓋を外し、⊕⊖の指示に従って付属電池を入れてください。

- 2) 2台用の場合は従動側の電動ユニット付属のリモコンを、リモコン登録マニュアル(取説番号ME-2118)を参照しリモコンのコード登録をしてください。
- 3) 電源スイッチをON側にスライドさせて、15ページ扉の開閉テスト③三点スイッチの動作テスト1)、2)、3)の要領で、動作を確認してください。

! 動作テストは開—閉—停を間隔をとって切りかえてください。頻繁に操作したり、10秒間押しっぱなしにしますと誤操作防止機能が働き、10秒間操作できなくなります。10秒以上待って操作をしてください。

5 手動開放及びロック機構について

- 1) 電動ユニットが取り付けられている状態でも扉を手動で下ろすことはできます。扉を閉じる時にはゆっくりと下げる様お願いします。
- 2) 電動ユニットで閉鎖された扉は、電源の供給の有無にかかわらず機構的にロックがかかっていますので、手動で扉は開きません。但し、機構上100~200mm程は手で持ち上げる事ができます。

! 非常時以外の手動での動作はおやめください。

- 3) 停電時・故障時の開閉は「お施主様用手引き」(取説番号MET-1031)を参照の上ロックを外し、手動にて開閉してください。

施主様への引き渡し

- 日常のお手入れについてお施主様にご説明をお願いします。
- 扉の開閉操作の説明を行った後、取扱い説明書を必ずお施主様にお渡しください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力(動作時のみ)	1台用60W 2台用100W (待機消費電力0.02W)
モーター定格出力	1台用15W 2台用15W×2
リモコン操作距離	電動ユニット制動側より約10m(見通し距離)
扉動作	50Hz: 15秒~16秒 60Hz: 12秒~13秒
安全補助機能	タイマー回路 16秒

! 安全補助機能は、3点スイッチ又はリモコンでの操作開始よりの時間となります。